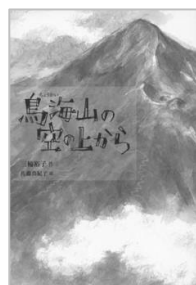


ちょうかいさん
鳥海山の空の上から

三輪裕子作 小峰書店



東京に住む5年生の翔太は、秋田県鳥海山のふもとの町に住む、親戚の波江おさんのところで過ごすこととなります。一人で、上野駅から夜行寝台列車に乗りこみ…。

めいたんてい しろあと なぞ
☆ 名探偵カッレ城跡の謎

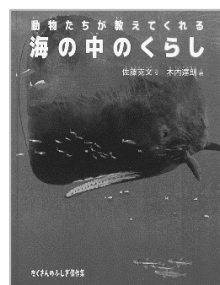
リンドグリーン作 岩波書店



カッレの親友、エヴァロットタの家に、エイナルおじさんが来ました。おじさんは、夜中に家を抜け出すなど何かとあやしい人物です。カッレはその謎を探ろうとします。

動物たちが教えてくれる
海の中のくらし

佐藤克文 木内達朗絵 福音館書店



動物に装置をつけて動物の生活を直接観察する「バイオロギング」。この方法で、今まで知られていなかった動物たちの海の中でのくらしが明らかになりました。

すかん
生活図鑑

おちとよこ文 福音館書店

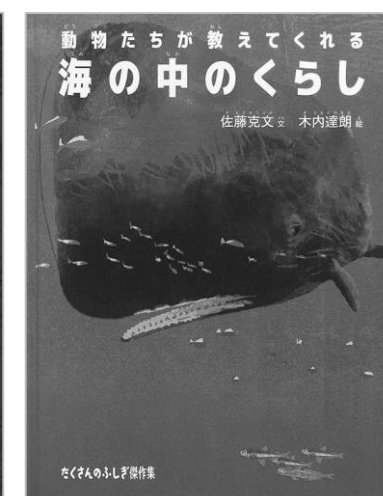


みなさんは、料理や洗たくやそうじが一人でできますか？この本を読むと、生活していくために必要な衣・食・住についてのことがよく分かります。

2021

夏休みにすすめる本

5・6年生のみなさんへ



※文字を読むのがむずかしく、音声版やマルチメディア
DAISY版をご希望の方は、図書館へご相談ください。

おうちの方へ

ここに紹介する本は、調布市内の読書指導を研究する先生方と図書館の協力で、実践の中から選んだものです。

刊行物番号 2021-60

令和3年7月7日 発行

調布市立小学校
教育研究会図書館研究部
調布市立図書館

表紙写真は

『グリムのむかしばなし 1』（のら書店）
『動物たちが教えてくれる海の中のくらし』（福音館書店）
『名探偵カッレ城跡の謎』（岩波書店）

より

ジャングル・ブック

キプリング作 岩波書店



モウグリは人間の子どもですが、オオカミに育てられました。ジャングルの厳しいおきてを学び、たくましく成長していきます。

海へのあさ

マックロスキー文・絵 岩波書店



サリーはある朝、歯がぐらぐらしているのを見つけて驚きます。美しい海辺の自然の中で暮らす一家のできごとをえがいた絵本です。

☆ ツバメ号とアマゾン号

上・下

ランサム作 岩波書店



ウォーカー家の4人兄弟は、小さな帆船「ツバメ号」を操り、子どもたちだけで無人島で過ごすことになりました。冒険いっぱいの夏休みの始まりです。

ふたりのイーダ

松谷みよ子著 講談社



おかあさんのいなかで、直樹とゆう子は「イナイ、イナイ、ドコニモ…イナイ…」と、つばやきながら歩く奇妙ないすを見かけます。

☆ かはたれ

朽木祥作 福音館書店



河童の子ども八寸は人間の暮らしを知るために、小さな猫に姿を変えて町の公園にやってきました。そこで母をなくしたばかりの少女麻と出会います。

きゅうげつき 吸血鬼の花よめ

八百板洋子編・訳 福音館書店



ブルガリアは古くからヨーロッパとアジアのかけ橋になってきました。そのブルガリアに伝わる昔話を集めた、日本で最初のブルガリアの昔話集です。

虫はごちそう!

野中健一著 小峰書店



イナゴ、イモムシ、スズメバチ…いろいろな虫が、日本で、そして世界中で、食べられています。食べられる虫、虫の採り方、虫を食べる人々の暮らしを見てみましょう。

☆ グリムのむかしばなし 1・2

グリム〔原作〕 ガアグ編・絵 のら書店



「ヘンゼルとグレーテル」、「シンデレラ」などのむかしばなしが入っています。ユーモアたっぷりの生き生きとした挿し絵に引き込まれます。

じいじが迷子になっちゃった

城戸久枝著 偕成社



太平洋戦争の後、ゆづるくんのじいじは3歳で一人中国に残されます。中国で育ったじいじは、日本にいる本当の両親に会いたいと思うようになります。

しゅるしゅるぱん

おおぎやなぎちか作 福音館書店



解人は東京から岩手の田舎町に引っ越してきました。その町で、「しゅるしゅるぱん」という妙な言葉を目にします。

こしき 絵物語古事記

富安陽子文 山村浩二絵 偕成社



日本最古の歴史書『古事記』に収められている個性豊かな神々の物語です。「ヤマタノオロチ」、「稲羽の白うさぎ」などのお話が全ページ挿し絵入りで楽しめます。

スモーキー山脈からの手紙

オコーナー作 評論社



アギーおばあさんは、スモーキー山脈のふもとにある古ぼけたホテルの持ち主です。ホテルを売ろうと決心したある夏、3組の親子がやってきて…。

☆はシリーズのあるもの